

平成 30 年度 学校経営計画書

| | | | | | |
|------|----|-----|------------|-----|-------|
| 学校番号 | 41 | 学校名 | 県立静岡商業高等学校 | 校長名 | 中澤 秀紀 |
|------|----|-----|------------|-----|-------|

1 目指す学校像

(1) 教育目標

本校は、校訓「剛健進取」のもと、授業、部活動、学校行事を通して、知徳体のバランスに配慮しつつ、生徒個々の持つ特性を最大限に伸ばし、その多様な特性を学校の活力とすることを旨とする学校である。その教育理念は以下のとおりである。

創立 120 年の歴史と伝統を有する静岡県を代表する商業高校として、商業教育の特色を最大限に発揮して「剛健進取」の校風と「文武両道」の伝統を継承する。そして、生徒の主体的・自発的な態度と行動を尊重し、専門的職業人、より良い社会の形成者として地域社会に貢献しようとする態度と価値観を醸成するとともに、学ぶこと働くことを尊び、人を大切にする態度と高い志を持ち、生涯にわたって学び続けることのできる生徒を育成する。

(2) 目標具現化の柱

業務内容、分担等の根本的な見直しと業務削減によって、教職員の物理的・精神的な「ゆとり」を生み出し、全職員の協力体制を構築する。そして、「安心・安全な学校づくり」を力強く推進する。

ア 基礎学力を充実し、確かな学力を育み、生徒一人ひとりの希望する進路を実現させる。

イ 基本的な生活習慣を確実に定着させる。

ウ 学校行事や部活動等とおして、「豊かな感性」と「健やかな心身」を育む。

エ 積極的な広報活動等とおして、保護者や同窓生及び地域の方々に教育活動全般を周知し、地域から信頼される学校づくりを推進する。

オ 業務改善に努め、教職員の業務が適切に行われるよう改善を図る。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

| No. | 取組目標 | 達成方法（取組手段） | 成果目標 | 担当部署 |
|-----|-----------------|--|---|--------------------|
| 1 | 基礎学力の向上 | ① 日常の授業を大切にするとともに、授業改善の意識を高め、教授法など改善する。 ② 家庭学習の習慣化を更に一層進める。 ③ 各種資格取得を積極的に進める。 | ① 授業診断を学期末毎に実施するとともに、平均 2 時間程度の家庭学習を確保する。 ② 全商検定 3 種目 1 級 100 人以上を目指す。 | 教務課 商業科 |
| 2 | 進路指導の充実 | ① 生徒一人ひとりに適した様々な情報等を積極的に提供し、情報等に基づいたきめ細やかな面談を充実させる。 | ① 就職内定率及び進学率 100%を目指す。 | 進路課 進学課 各学年部 |
| 3 | 基本的な生活習慣の定着 | ① 登下校時の校門指導及び遅刻防止指導を徹底する。 ② 自転車の運転マナーの向上を図り、安全な自転車運転の指導を徹底する。 | ① 毎日の遅刻者を 5 人以下にする。 ② 自転車に関する不快行為及び運転による事故をゼロにする。 | 生徒課 各学年 |
| 4 | 心身の鍛錬と健全な精神の育成 | ① 各部活動に具体的な目標を掲げさせ取り組ませることで、生徒の達成感を高める。 ② 薬物や性に関する講話を行う。 | ① 各部活動県大会以上の出場を達成する。 ② 薬学講座を年 1 回以上、性教育講座を各学年年 1 回以上行う。 | 生徒課 保健課 各学年部 |
| 5 | 保護者や同窓会及び地域との連携 | ① PTA 総会及び地区懇談会の方法や内容を検討し、参加率を向上させる。 ② 中学生一日体験入学及び公開授業の参加者を増やす。 ③ 同窓生の思いを教育活動に活かしていく。 ④ 地域産業と連携した商業教育を推進する。 | ① PTA 総会は 30%以上、地区懇談会は 90%以上の参加率を目指す。 ② 中学生一日体験入学は 800 人以上、公開授業は 200 人以上の参加人数を目指す。 ③ 同窓会と連携して HP を充実し、情報発信に努める。 ④ 地域の特色を生かした商品の開発と販売を実践する。 | 総務課 教務課 商業科 |
| 6 | いじめや体罰の根絶 | ① いじめ、体罰や言葉による暴力等を根絶する。 | ① アンケートを実施し生徒や保護者の意見等を丁寧に聞くことで根絶に努める。 | 全教職員 |
| 7 | 業務の在り方を見直す | ① 一部の教職員に業務が集中しないように改善を図っていく。 | ① 業務改善に向けた提案を全職委員から募集し、意識を高める。 | 全教職員 |